

強誘電体応用会議での講演発表についてのお知らせ

2008/8/7

Ver0.3

講演発表の方法についてお知らせいたします。特に液晶プロジェクタを最近導入しましたので、これの利用手順についてお知らせします。

[講演時間]

一般の講演は1件15分です。第1鈴が7分、第2鈴が10分(発表終了・質疑開始)、第3鈴が15分(講演終了)です。

[プレゼンテーション機材]

液晶プロジェクタ(パソコン接続)が利用可能です。OHPプロジェクタは講演用には用意しません。スライド、ビデオなどをご利用になる場合は必ず会期前に事務局(<http://fma.naist.jp/>)までお知らせください。会場の配置(予定)を添付の図に示します。

[液晶プロジェクタ]

液晶プロジェクタを利用する場合は講演者がパソコンを持ち込んでください。液晶プロジェクタはSVGA(800x600)、XGA(1024x768)表示が可能です。(機種はSharp XG-C40XJ および NEC MT1055Jを予定) 接続は通常のVGA端子(高密度D-SUB 15ピン端子)にて行えます。また、作業テーブル上にはテーブルタップ(100V)も用意してあります。

会場では添付の図のように2台のノートパソコンを切り替えて表示できるようにしてあります。会議のスムーズな進行のため、次に発表する方は一つ前の講演者が講演している間に接続・立ち上げをすませてください。立ち上げ作業にはプロジェクタとは別途に用意してある液晶モニターが利用でき、また、会場係が控えておりますのでサポートできます。

講演の順番が来ましたら、切り替えスイッチを切り替えてプロジェクタを自分のパソコンに接続・表示してください。さらに、前の発表者が退去しましたら、ノートパソコンを持って左側(前の講演者がいた場所)に移動し、さらに次の方の場所を空けてあげてください。

本会議で液晶プロジェクタを使い出して間もないです。上記の件など進行にご協力いただけますようお願いいたします。

講演会場配置図

スクリーン

